

第 55 回釜ヶ崎越冬闘争への協力要請

コロナ(Covid 19)が感染症五類に引き下げられて、今年は外国人旅行者(インバウンド)の波が押し寄せ、コロナ前を上回り、過去最多の賑わいを見せています。

こうした中で、日本社会は安倍政権下で輸出企業優遇のために進められてきた円安誘導からのインフレ＝物価高騰はますます進み、実質賃金を切り下げ、エンゲル係数(食料品費の割合)の高い低所得者層の生活をますます圧迫しています。賃金の多くを食費に割く私たち自身の生活実感からすれば食料品の値上げは五割を超えて進んでいると思えます。

さらに今年は謎の米不足があり、市場から消えたコメが再び出てきたときには倍近い値段になっていました。実質賃金はどれだけ下がったのでしょうか。

一方、世界ではウクライナでの戦争が限定戦争の枠を超えて米英の最新兵器とロシアの最新兵器が互いの本土を攻撃する戦争へと発展し、NATO vs ロシア の戦争＝世界大戦へ突入しそのような様相まで見せてきました。パレスチナでは 1948 年以降、イスラエルによる不当な支配・占領が続いてきました。そして昨年 10 月 7 日を契機に、ハマスの壊滅を大義名分としたガザ地区のジェノサイド(大量虐殺)へとエスカレートさせています。そのイスラエルを支援しているのがアメリカ・EU であり、日本です。

アジアではアメリカの中国敵視政策に便乗する日本政府は「台湾有事」などという言葉を作り、これまでの「一つの中国」を投げ捨てて中国との戦争を煽り、軍備増強、南西諸島全域の要塞化をさらに推し進め、市民の生活を犠牲にした大增税を行って軍備のために税金を垂れ流そうとしています。

こうした戦争もまた原油高、穀物不足などを通じて物価高騰を招き、このような経済状況の中で野宿をせざるを得ない仲間の生活も一層厳しくします。今年は 12 月にセンター建て替えに伴って執行が行われ寝場所を失った仲間もいます。また、年末に向けて困窮し生活に苦しむ人、住む場所を失う人も増えていくと予想されます。

こうした厳しい状況の中でも、私たちは越冬闘争を戦い「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けていきたいと思います。今この街に暮らすなかまと共にこれからも流れ着くであろうなかまたちを守っていければと思っています。

誰もが「野宿をしなくてもよい街」仕事を望めば「誰もが働ける街」

『安心して働き、生活できる街・釜ヶ崎』を目指して越冬闘争を闘います。

今年の越冬闘争も目の前でなかまたちが餓死・凍死するのを防ぐとともにこの街がすべての個人ひとりひとりにとってやさしく住みやすい街となるように人権と平和を求めてそれに反す

るような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声を上げていく越冬闘争になればと願っています。

物価が高騰する中で炊き出し用食材、資材の購入に例年よりも予算が多くかかる見込みで、今年の越冬闘争は予算面でも苦しい戦いとなることが予想されます。

厳しい経済状況の中ですがこれまで同様、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

また、2024年12月28日から2025年1月6日までの越冬期間中の現場でのご支援もよろしくをお願いいたします。

■資金で協力

越冬闘争では、毎年多額の資金が必要となります。現在も、越冬実行委員会では、資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあって、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くのみなさまに、資金協力をお願いしたく思います。

また夏まつりの資金にも使わせていただきます。

【振込先】①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094

釜ヶ崎実行委員会 代表 山田実

②ゆうちょ銀行 記号 14110 番号 33722521

【他金融機関から振り込みの場合】

③ゆうちょ銀行 ヨンイチハチ(418)支店 普通預金 3372252

④郵便振替口座 00960-4-108331

②③④は、名義：釜ヶ崎実行委員会

■物資で協力

越冬闘争では次のような物資が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

□毎日の炊き出しに使う、米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他食料

□冬の寒さをしのぐための、寝場所、医療パトロールで使う、寝袋、衣類（成人男性用、防寒着、下着、靴下、カイロなど）

□その他、石鹸、タオルなどの日常生活用品

【物資の送付先】〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7

第55回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会（代表 山田 実）

電話：06-6632-4273

第55回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会